

成東高校同窓会報

第5号

2014年12月25日

発行
成東九十九同窓会

編集責任者
畑戸輝夫(高3回)

印刷 (株)サラト

学校規模

クラス数	23クラス (1年7クラス 2・3年8クラス)
生徒数	合計934名 男子 492名(52.7%) 女子 442名(47.3%)
卒業生数	合計 28,364名 旧制中学校卒 4,620名 併設中学校卒 545名 新制高等学校卒 23,199名

(平成26年12月1日現在)

熱情・努力・継続



同窓会長
清水新次
(高15回)

寒い日々が続いておりますが、会員の皆様お元気ですか。

昨年十月七日に「ノーベル物理学賞が三人の日本人研究者に授与されることが決定」という日本中を明るくするニュースが報道され、私達も大変誇らしく感じました。

ノーベル賞を受賞できた要因として三人に共通しているものが「人のやらないこと、できないこと(青色発光ダイオードの発明)」を、①熱情をもって、②努力を、③継続して成し遂げた結果である」ということでした。

確かに、夢や目標を成し遂げ、成功した人達を見聞すると、①から③の要件を必ず満たしているように思えます。

私達の成東高校は、卒業生は二万八千人を超え、四年後には創立百二十周年を迎えます。

既に甲子園は一度出場を果たし(再度の出場が切望されている)、オリンピックメダリストも輩出していますが、未だノーベル賞受賞者は皆無です。文武両道を校訓とする成東高校としても可能性ある会員にはノーベル賞を目指していただきたいものです。

杜甫の詩に「人生七十古来稀なり」という一節がありますが、私も昨年古稀を迎えました。この古稀を記念して、昨年十一月私達のクラス同窓会が三十八名中二十四名出席のもと十数年振りに開催されました。

出席者は皆七十歳とはとても思えない程若々しく、高校時代の懐かしい思い出や卒業後の苦勞話、現在の状況など、時の経つのも忘れ話し合い、大変な盛況でした。この席上、私から級友達に「旧武道館の改修に必要な寄附金がある」と

よう集まらないこと」など同窓会長としての悩みや苦勞話を交え、記念グッズの購入をお願いしたところ、あつという間に全て売り切れ、売上総額は十二万円となりました。級友達の殆どは年金生活であり、決して豊かとは言えない状況の中で級友達の母校に対する熱い思いに接し、深い感銘を受けた次第です。

久し振りに会った級友達も人によって若さに大きな差があり、夢や目標を持ち、その実現に頑張っている人は、そうでない人と比べてずっと若く感じられたのです。これは、その人の夢や目標に対する熱情、努力、継続の強さに比例しているように思えました。

ノーベル賞受賞者の三つの要件は、若さを保つ秘訣でもあるようです。

春の足音は、未だ遠くに聞こえますが、四月には観桜会が予定されています。九十九本の満開の桜の花の下で多くの会員の方々が再会できることを願うとともに、会員の皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を心からお祈り致します。



漫画家 立原あゆみ氏作品「二年春」 ペンネーム 立原あゆみ氏より寄贈(本名 市川洋一氏 高17回)

第109回 九十九同窓会定期総会報告



部活動激励費制度を創設——平成26年度の第109回成東九十九同窓会定期総会が、去る平成26年8月3日(日)午前10時より、本校百周年記念館にて開催されました。



例年どおり、八月第一日曜日午前一〇時開催となった定期総会は、新たな事業への取り組みを含む充実したものとなりました。今年度は、高校第二四回卒業生の皆さんにご案内をいたしました。当日の参加者は、四九名を数えました。内容は下記の通りでした。



会則改定を提案する清水会長

記
一 開会挨拶 谷本篤副会長
二 清水新次同窓会会長挨拶
三 猿渡末治校長挨拶
四 議事
(1) 会務・会計報告
(2) 監査報告
(3) 創立百周年記念事業について
(4) 同窓会会報の発行について
(5) 会則の改定について
卒業時にいただく同窓会終身会費を現行の二千元から四千元にしたいという提案でした。趣旨は在校生への教育活動援助で、具体的には、部活動の関東大会以上の出場の際には、交通費等の補助が出来るようにしたいとの説明が清水会長からあり、近隣他校の同窓会費も提案額と同程度になっていることもあり、提案は承認されました。
総会での決定を受け、学校では今年度から「部活動激励費」として団体に五万円、個人に

一万円の補助を行っております。本当にありがとうございました。
(6) その他
五 講演
荒井信久氏(高一四回)
『素晴らしき成東高校
〜出会い〜』
元明大野球部監督による野球を通じての様々な出会いを伺いました。概要は別記事をご参照ください。

六 閉会挨拶 眞壁力副会長
その後、記念撮影を経て、地元山武市成東の「米作」に席を移し、懇親会を和気藹々と執り行いましたことをご報告申し上げます。

(資料)
一、平成二五年度会務報告
二五年

- 七月一日 会計監査
- 同 役員会
- 同 同窓会準備
- 八月四日 同窓会総会
- 九月一日 東京九十九同窓会
- 一〇月三〇日 千葉県庁九十九会
- 二六年
- 二月二五日 大平支部同窓会
- 三月六日 同窓会入会式
- 三月七日 卒業式
- (卒業生三二四名に卒業証書ホルダー贈呈)
- 四月一九日

千葉県警九十九同窓会

観桜会のお知らせ



例年、本校では四月の第一土曜日に、校内九十九本の桜を一般公開し観桜会を開催しております。同窓生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。詳細は本校のHPをご覧ください。

二、平成二五・二六年度

- 同窓会役員一覧
- 会長 清水 新次(高一五)
 - 副会長 谷本 篤(高一三)
 - 副会長 市東 明義(高一五)
 - 副会長 眞壁 力(高一九)
 - 副会長 前嶋 康夫(高一四)
 - 幹事 猿渡 末治(校長)
 - 幹事 里見 勇(高一六)
 - 幹事 内藤 光雄(高一二)
 - 監事 西川 泰雄(高一)
 - 監事 岡村 新吉(高一)
 - 顧問 嘉瀬 尚敏(高二)

高校普通科三十五回 理数科十回卒業 半世紀記念学年同窓会

一先生、H組・三浦雄一先生です。ご公務のためお越し願えなかったD組の藤原伸二先生もメッセージをお寄せくださいました。

卒業生は一七九名が出席、応援団の指揮に合わせて校歌を唄えば心は高校時代へ。先生方からも「口伴奏つきの校歌が、実に懐かしい」「成高の校歌と応援歌なら今でも歌える」等、温かなお言葉を戴きました。真夏の日射しを浴びながら全員が肩を並べて記念撮影



満五十歳の節目を期して、昭和五八年卒業の同窓会を八月一七日(日)に東金市内のエントリーホテルで開催しました。当日お越しくださった先生方は、

A組・中村文彦先生、B組・小林豊美先生、C組・市原忠志先生、E組・伊藤宏明先生、F組・山邊和明先生、G組・木下忠

し、室内へ戻れば歓談の輪が広がっていきます。さらに当時の流行歌メロデーと共に懐かしい写真がスライドショーで映し出されると、思わず上がる感嘆の声、時に爆笑の渦で、会場は大いに沸きました。

やがて応援団が凛々しく再登場し、皆で名残を惜しみながら校歌と応援歌を歌い上げます。出席者は「質実剛健」と染め抜いた記念品のマフラータオルを手に、再会を約してお開きとなりました。

東京九十九同窓会へのお誘い

首都圏在住・在勤の成東高校卒業生の集いである「東京九十九同窓会」が今年も九月九日に開催されました。場所は丸の内歴史建造物である日本工業倶楽部です。東京九十九同窓会の前会長である松戸猛氏(高五回卒・元アクサ生命会長)が日本工業倶楽部のメンバーであることから、近年はこの会場を使わせていただいています。同窓会では毎回、同窓生による講演やパフォーマンスを行っています。社会で活躍されています同窓生の生き方に触れると元気の素をいただくことができます。

今年「アコースティックの夕べ」と題して、高校三二回卒の依知川伸一氏と一九七五年からゴダイゴのメンバーとして活動された浅野孝二氏によるアコースティックベース&ギターの演奏と歌で、ゴダイゴやピートルズナンバーの数々を楽しませていただきました。お二人は浅野氏の「あさ」と依知川氏の「いち」からグループ名を「あさいち」と名付け、二人とは思えない繊細でドラマチックなアンサンブルで国内外にライブ活動を展開しています。

しみを胸に、成東高校校歌をみんなで声高らかに歌って締めくくりました。

依知川氏は光町の出身で大学在学中にプロデビューしているのですが、本校の同窓会長として当日ご出席いただいた清水会長の奥様が結婚前に、まだ小学生だった彼にピアノを教えたことが判り、人の縁・地の縁とは不思議なものだと思います。

演奏を楽しんだ後は、場所を隣に移して懇親会です。

乾杯から始まった歓談では、工業倶楽部の美味しい料理をいただきながら、懐かしい故郷の話、同窓生の消息、仕事の話、趣味の話、健康についてなど、様々な話題で盛り上がっていました。

最後は「健康が第一」を motto に又来年皆さんと会える楽しみに。

平日は仕事で忙しい方もリフレッシューのいい機会になると思います。

事務局は高二八回卒の椎名康雄氏ですので、連絡いただければ詳細をご案内します。

椎名氏の連絡先は以下の通りです。

Tel 03-5298-3612 Fax 03-5298-3613
E-mail shiina@tem-inc.co.jp

千葉県庁九十九会、女子会を創設

千葉県庁九十九会(会長 飯田宏行・高二七回)の総会が、一〇月三〇日(木)、「プラザ菜の花」で開催されました。

当日は、県庁OBでもある清水新次同窓会長や母校の猿渡末治校長をはじめとする来賓をお迎えして、久闊を叙することができました。

特に今年度は男女共同参画推進のため(?!), 県庁九十九会女子会の設立が承認されました。総会は、親睦を深めつつ、政の新たな課題に向けて決意を新たにするよい機会となっています。多数の参加をお待ちしています。

講演 記念

素晴らしい成東高校 へ 出会い

荒井 信 久 (高二四回) 氏



荒井信久氏

今ご紹介いただきました荒井です。私は昭和47年(高校24回)卒業です。出身は松尾で、今も住んでおります。野球という狭い世界の中ではありますが、その中で経験してきたことを少しお話しさせていただきます。と思っています。

【今年の成東野球部の活躍】

今年の夏、成東高校は、一回戦から出場してAシード校も破ったりしましてベスト16に入り、胸がわくわくいたしました。私は現在千葉黎明高校の副理事長で野球部の監督をおおせつかつております。いわば成東高校とはライバル同士です。3年目を迎えて、よいチームになってきておりまして、今年は結構いけるんじゃないかという感じをもっておりまして。でも勝負の世界は甘くはないなということを実感しております。今年の成東高校の5度の戦いは謙虚で、さすが成東高校という戦いぶ

りでした。私の中にも成東高校のいい部分の血が流れていることを忘れずにやっていたいかなくちやいけないと反省しております。私の中でははつきりとした目標ができましたので、またしつかりやってきたいと考えています。

【成東高校に入りたかった】

私が成東高校に入りたかったのは、昭和40年、銚子商業が甲子園で三池工業と対戦して破れ準優勝した時のパレードを見てからです。赤いオープンカーで、テレビに出ていたあの木樽投手が、阿天坊選手が、なんてかっこいいんだらうと……。私も是非高校野球で頑張りたいなと、つい昨日のように鮮明に心の中に残っています。で、中学でも頑張りました。必ずしも成績のいい生徒ではなかったんですが、そういう目標が出来ますと勉強もするようになりました。なおかつ、当時の松尾

中学にいらした、成東高校の野球部の先輩でもある故古川先生(笑顔の素晴らしい方でした)からの「信さん頑張れよ、あんたは成東で野球やんなよ」という言葉が道をつけてくださったと思います。本当に成高に入ってよかったと思います。そのときは、60歳をすぎてからも野球がすぐそばにあるような生活が出来るのは夢に

も思いませんでした。

【偉大な指導者】

なんとか成高に入学すると同時に野球部に入りました。私を指導してくださった4人の先生方は本当に誇れる存在です。

まず松戸先生について。私ほどもと内野手だったのですが、身体が大きく肩も強いわりにさほど動ける内野手でもなかったたので、毎日松戸先生に猛ノックを受けました。そのうち、逃げ場を見つけたんです。それはフリーバッティングのキャッチャーでした。座って20、30分休めますから。それを見て、松戸先生が「お前キャッチャーをやれ」と。もし内野手のままだったら、こんなに長く野球とは関わっていなかったと思います。キャッチャーだったから、野球を深く勉強するようになりました。私に合っていたと思います。松戸先生に方向性を示していただいたなと思います。

松井先生は、私のお仲人さんでもあり、公私ともにいろいろな形でご指導いただきました。永田先生は担任でもあり、左投げ左打ちで格好がいんです。打てばプールまで楽々と球を放り込むといった具合で、指導も素晴らしいんですが、プレーも自ら手本をとるという方でした。先生は、私が明治大学に進む際に「大変厳しい学校だが、3年辛抱しろ。4年目で勝負をするんだ」と何度か愛車スバルの中で教えていただきました。長谷川先生は、今でも何かあると

相談させていただき、特に千葉黎明にお世話になるときはご指導くださいました。

本当に4人の先生方は素晴らしい。私が指導者としてやれているのも、先生方を手本にできたからではないかと思っています。

【鶴沢達雄先輩と鈴木孝政投手】

「鶴沢さんと孝政とどっちがどいうだ」という話が、特にお酒の席では実によく出てきます。私は2人の中間の学年でしたので、どちらの球も受けているわけです。

鶴沢さんは、馬にたとえれば荒馬、まったく調教されていない馬という感じがしました。球はめっぽう速いんですが、アウトコースへのサインがインハイに入るわけです。新米キャッチャーとしては捕るのが精一杯でした。スライダはベイスいっばいに入るようなスライダを投げます。夏の予選で彼はノーヒットノーランを見事にやってのけましたし、私にもう少しキャッチャーとしての力量があれば間違いなく甲子園に行ってもおかしくない、そういってピッチャーでした。性格も普段から荒っぽい。大洋ホエールズ入団後、遊びに行つたんですが、クルマの運転が急発進・急ストップ、交通事故にならないでくれ、とちよつと話がオーバーですけど。手の指が長くてスピンの効いた類い希な大エースと1年間バッテリーを組ませていただきました。関西にいると「ナルトウ? 四

国の鳴門」って聞かれるんです。

「違いますよ。中日の鈴木孝政の出した学校です」「ああ、あそこですか」(成高が全国区になったのは) 本当に鈴木孝政投手のおかげです。この投手はコントロールがいい、球の回転もすばらしい。孝政ほどの球を投げるピッチャーはそうそうないなと思います。彼は夏予選無失点で県大会を勝ち抜いております。1点とれば90%勝ち、2点とれば99%の可能性がありました。いいピッチャーでした。これは自慢ですが、彼が蓮沼中時代、私は松尾中で彼と対戦しております。彼はカーブピッチャーだったんです。私は5打数5安打でした。ところが、彼が入学してから、他のキャッチャーが彼の球をとれない。私が受けたら「えっ、これが蓮沼の孝政かい?」すごい球を投げておりました。中学(高校生はとてつもない成長力があるわけで、力量の決めつけはいけな)と彼の例から感じております。

【離れて学ぶ】

こうやって私は成東高校で大事に育てていただき、縁あって明治大に進みました。島岡吉郎監督(御大と呼んでいました)は、目を合わせられないくらいの迫力がありました。身長150cm、体重100kg、まさにビヤ樽です。運良く選ばれて50人規模の合宿所に入らせていただきました。すると、トイレで監督に会った時に「お前はね、キャッチャーの苦労を知らないんだよ」。3年間いわれ続けました。私にはそれが堪えまし

荒井信久氏

略歴

昭和29年3月19日生。松尾町(現山武市)出身。昭和47年成東高校卒業(高24回)

活動歴

成東高で捕手として、二、三年生の時は東関東大会進出。後に中日ドラゴンズで活躍する鈴木孝政氏とバッテリーを組み活躍。

卒業後、明治大へ進み、明治神宮野球大会での優勝も経験したのち、神戸製鋼へ入社。翌年都市対抗野球に優勝、同社の監督時代には、1992年にバルセロナで開催されたバルセロナオリンピックの野球競技コーチとして銅メダル。

その後、母校明治大の監督を5年間勤め、横浜ベイスターズ スカウト部長、オリックスバファローズ スカウトを経て、現在千葉黎明高校監督。

た。何故言われたか、そりやそうですよね。大学といえど、鶴沢さんや孝政のようなピッチャーはそうそういるもんじゃありません、現に御大は孝政を獲得に来ましたから。そんな御大でしたが、勝つと言うことの素晴らしさを教えていただきました。

私の在学中、東京六大学で3回優勝させていただきました。特に4年生の時、江川卓という大投手が法政に、成高の同級生川口和夫君がキャプテンとして早稲田にいる、そんな中、最弱と言われていた明治が春秋と、特に秋は開幕から東大に2連敗してから、優勝しました。弱いチームがなぜかという、当時初めてハワイへ遠征しているんです。アメリカ本土のチームと金属バットで試合をして、23対5なんてスコアで負けるんです。すると御大は狂わんばかりにネット越しに怒ってね、相手のベンチに帰りたい気持ちでした。でも、日本に帰ってから野球が楽になった。江川といえど、

アメリカの方が球が重いですから。先行投資の重要性のようなものを御大との出会いから学びました。

高校野球・大学野球・社会人野球、いろんな野球があります。それから台湾・韓国も本当に強いんです。東洋のピッチャーというのは指先が器用でね。また、ヨーロッパの野球、北米、南米の野球もあります。その中で国を代表して戦うということも経験できて、ありがたい時期だったと思います。当時のメンバーは20名で、社会人が19名、唯一大学生だったのが、侍ジャパンの監督、小久保裕紀選手です。準決勝で台湾の郭李建夫にやられて、アメリカと対戦した3位決定戦の時、活躍したのが小久保なんです。きっちり打ってね。2020年に野球がオリンピック種目に復活するかどうかわかりませんが、経験者としては、若い人たちにあの経験をさせてやりたいなどは強く思います。

1年が過ぎまして、また勝てるんじゃないかと期待していたんですが、翌年秋のシーズン終了前の試合で、ファーストベース上で立教と小競り合いになりました。翌日の新聞の一面に私が深々と頭を下げている記事が載りました。ひよつとしたら、勝利至上主義に陥っていたんじゃないかとも思います。東京六大学は、試合では全力で戦う訳ですけども、本当に仲がいいんですね。実は黎明の理事長は私の同級で、慶応のマネージャーでした。島岡監督の「東大の選手ははずれ偉くなるから、きちんとつきあっておけば、後で明治の学生が幸せになれる」(笑)とお考えもあって、特に東大と明治は仲がよかったです。明治と立教も、すごくいい試合をするんですね。それがあの時は行き過ぎた形になりました。私はすごく反省しまして、4年生の就職内定先に詫びに回ったりしました。「グラウンドでのことなんで、気にしないでくださいいね」とおっしゃって

【私の宝物】
98年に明治大学の監督になりました。樺淵聡、川上憲伸、小笠原孝といった好選手がいて、春は四位でしたが、その後やるべきことをしっかりやるようになって、秋には明治創部以来の10連勝をし優勝、神宮大会も優勝しました。いい学生たちとの出会いをしました。彼らがいまでも活躍してくれていることを誇りにしています。

【スポーツの持つ3つの力】
慶応の小泉野球部長のことばですが、黎明では生徒たちにこれを話しています。やはり、生活面も含めて成長するためのあらゆる努力をした上で、練習を積めば、鈴木孝政選手ではありませんが、飛躍的に伸びる。120kmしか出せなかった投手が卒業する時には140km投げられるようになる、内野の頭を越えるのがやっとなつた選手がホームランを打てるようになる。「練習は不可能を可能にする」んです。

【新たな挑戦】
黎明をいい学校にしたいなと思っておりま。中学に生徒募集で行くと、成績のことを聞きます。成績がいいと、「成東へ行きなよ」と必ず言いますが、「でも、黎明にも特進クラスがあるからね」と付け加えるんです。ずいぶん部員が増えて参りました。69名です。質もよくなってきました。高野連に報告するような事件もなくなってきました。これは私が誇れることです。昨秋ベスト4、もう1つで関東というところまでできましたから、今夏は悔しい思いをしました。一所懸命やっている生徒のためにも頑張りたいなと思っています。

同窓生と現役成高生をつなぐ

職業研究講演会の試み

10月21日(火)、本校で1年生対象の職業研究講演会が開催されました。

これは、社会で活躍している人、特に成高同窓生から、ご自身の仕事に関するお話を伺い、進路実現の一助にしようと、進路指導部が5年前から行っている試みです。

今年も10講座のうち9講座が同窓生によるものでした。同窓生の皆さんには、交通費なし、食事なしの完全ボランティアで参加を快諾していただき、心から感謝しています。

◆講座一覧

- 講座① 「人間の生命と健康、尊厳を守る」ということ
- 講座② 小動物臨床獣医師の仕事と将来性 澤村昌樹氏(高42回)
- 講座③ トラウマからの脱却と出会い、挑戦 小山和典氏(高30回)
- 講座④ 士業〜独立業務請負人〜のすすめ 高橋俊行氏(高32回)
- 講座⑤ 弁護士という仕事 郡司 淳氏(高42回)

講座⑥

新聞記者の仕事とマスメディアの役割 若林 宏氏(理4回・高29回)

講座⑦

伝統産業とドラマ撮影 豊かな地域を考える 守屋雅博氏(理9回・高34回)

講座⑧

森林・林業行政に携わって 高校生の皆さんに伝えたいこと 並木康雄氏(理1回・高26回)

講座⑨

私の好きな美術 勝田徳朗氏(高24回)

講座⑩

後輩諸君に期待すること 将来へのアドバイス 大多和牧氏(高28回)



◆講師の感想

(東芝三菱電機産業システム取締役、大多和さんにお話を伺いました。)

40年ぶりの母校は？ 校舎が昔のままでした。今の生

徒さんにはかわいそうですが、懐かしくて。こういう場に呼んでいただけて光栄に思っています。

生徒の印象は？

おとなしい感じがしますね。お行儀がいいというか……

世界を闊歩したくて現在の仕事に就いたということでしたが、大志を抱いて入社してくる人は今もいますか。

それはいますね。就職氷河期を越えてきたせいもあるでしょうが、志望動機はしっかりしていますね。しっかりすぎて怖いくらいです。ただ、外国に行きたいという人は少なくなっています。私の会社にも留学制度があるんですが、喜んでいくという人が少ないです。

高校でも国際交流希望者が減っています。やっぱり国内が楽しいことでしょうか。

そうですね。僕たちの頃は、行きたくても行けなかったんですけれど。

若い同窓生のために伺いますが、三菱あたりだと採用時に出身校を考慮しますか？

技術系は有名国立大から採ったりしますが、事務系は特になく実力本位ですね。採用実績のない

学校はありますが、たとえば偏差値の順で採るようなことはありません。能力本位です。

欲しいのはどういう人物でしょうか？

一つは、地頭のいい子。理解力とか、コミュニケーション能力とか。もう一つは、組織の中で、仲間として認められる人間かを見ます。決して画一的な人を探ろうとしているのではなく、分け隔てなく、海外からも人を探っています。海外の人は優秀な人が多いですね。

この会のように先輩から話を聞く試みについては？

いいことだと思います。ただ何年生でやるのがいいのか、難しいですよ。

大多和さんにとって、成高はどんな存在でしたか？

成高出身者と仕事で出会う時があつて、当然すぐに仲間意識が出来て嬉しいんですね。誇るべき高校ですし、本当に感謝しています。

今の高校生にメッセージを

高校3年間は何か熱中して欲しいと思います。貴重な3年間です。一方、進路に向けての準備も後悔しないようにやってください。

◆現役生の感想

高校3年間は、人間関係を築くことの大切さや可能性を広げる

ために勉強するのだということも教えてもらった。「人が仕事を拓き、仕事が人を創る」や常にプライドを持つということを忘れないよう頑張ろうと思った。司馬遼太郎の本も読もうと思った。高校の先輩ということもあり、学生時代をどのように過ごしたかがよくわかり、とても参考になったし、面白かった。将来について具



体的に決まっていなくて焦っていたが、講演後は気持ちが少し楽になった。

◆お願い

各界の第一線で活躍する同窓生のお力を借りてはじめて生徒に生き生きとした仕事の実際を伝えられると思っています。

一肌脱いでもいいよという同窓生の皆さん、是非お力を貸していただければと思います。

(進路指導部長 佐藤公昭 高29回・理4回)

部活動も元気です!

不易流行

校長 猿渡末治



同窓会会員の皆様には、平素より母校の教育活動に格別の御高配を賜りますことに、厚く御礼申し

上げます。
着任して二年目となりました。昨年もお伝えしたとおり、今年度より二学期制に移行しました。また、四五分七コマ授業を展開し、課外授業や部活動の時間も確保できました。多くの部が関東大会出場を果たすなど、早々に効果が現れております。
もちろん部活動奨励費を頂けるようになったことも生徒のやる気を高めています。かさねて御礼申

上げます。
さらに、平成二八年度からの単位制移行に向け、生徒の興味関心を生かした進路実現を図るべく多彩な選択科目を擁する教育課程を編成中です。
一九〇〇年創立の不易の伝統の力を、流行する変革の現代に生かすべく職員と手を携えて学校経営を行っております。今後ともお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

今夏の同窓会総会の決定を受け、同窓会では関東大会以上に出場した部活動に激励費を支出することとしました。

さつそく、今年は陸上競技部、山岳部、ホッケー部、写真部、水泳同好会が関東大会出場を決めています。

今回は、陸上競技部とホッケー部にインタビューしました。

陸上競技部

陸上競技部は、秋の新人戦の県大会の結果、男子やり投げで、理科2年中田夏海君が52m58cmで第2位となり、関東大会出場を決めました。10月26日、茨城県の笠松運動公園陸上競技場にて行われた関東新人大会では50m95cmで27人中16位でした。

—— 関東大会を終えての感想は
自分の力が発揮出来なかったのが悔しくて、次の総体に向けて冬しっかりトレーニングして頑張りたいと



関東大会での中田選手

—— 思いしました。
—— キャプテンとして心がけていることは
積極的に声を出すなどして、ムーブメーカーになることを心がけています。

—— 理数科の勉強と陸上の両立は
両立は大変ですが、少しずつでも勉強しています。将来は、スポーツ健康学などを学べばと思います。
—— 同窓生にはアドバイスを受けましたか
よく練習に来ていただいているようなアドバイスしてもらっています。

—— 奨励費の第1号ですが
すぐ助けになりました。本当にありがたいと感じました。

—— 同窓生にメッセージを
来夏のインターハイ目指して、頑張ります。

ホッケー部

ホッケー部男子は、秋の新人戦県大会で大原高校、木更津高専をやぶり、関東大会出場を決めました。キャプテンの普通科2年齊藤雄大君にお話を伺いました。
—— 何年ぶりの関東ですか
5年ぶりです。
—— 出場が決まった感想は
ずっと勝てませんでした。今年がチャンスと思っていました。やっとでられたなという気持ちです。

—— 今市は全国制覇経験のある強豪ですが、意気込みは
正直厳しい戦いになるとは思いますが、最後まで頑張る声を出して頑張りたいと思います。

—— 40年の歴史のある成高ホッケー部同窓生のなごりは
OBの方も時折指導に来てくれ

平成26年度入試合合格数 (延数・抜粋)

国公立大学				その他の進路先			
大学名	現役	旧卒	計	進路先	現役	旧卒	計
北里大	2		2	短期大学	7		7
国学院大	3	4	7	専門学校	20	2	22
国士館大	8	2	10	就職(公務員)	9		9
駒澤大	9	2	11	進路(実数)			
芝浦工大	6	1	7	進路先	現役	旧卒	計
順天堂大	5		5	国公立大学	30	11	41
上智大	1	1	2	私立大学	194	31	225
成城大	1		1	短期大学	2		2
専修大	8	3	11	専門学校	16	1	17
中央大	9	4	13	就職	7		7
帝京大	18		18	計	249	43	292
東海大	5	3	8				
東京女子大	6		6				
東京電機大	5	3	8				
東京農大	8	3	11				
東京理大	6	6	12				
東邦大	18	5	23				
東洋大	39	17	56				
日本大	30	16	46				
日本女子大	1		1				
法政大	14	12	26				
武蔵大	3		3				
明治大	15	6	21				
明治学院大	5	1	6				
立教大	10	4	14				
早稲田大	5	3	8				
同志社大	3		3				
立命館大		2	2				
その他	171	13	184				
計	472	114	586				

私立大学			
大学名	現役	旧卒	計
淑徳大	12		12
城西国際大	10		10
聖徳大	10		10
千葉工大	13	1	14
青山学院大	4	2	6
亜細亜大	4		4
学習院大	5		5

ますし、ご自身で国体に向けたチームを作ったりしています。
—— 同窓生にメッセージを
緒戦厳しいと思いますが、頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。



ホッケー部関東大会 対今市高戦

創立百十周年記念グッズ 購入ご協力をお願い

千葉県立成東高等学校は明治三十三年（一九〇〇年）に創立され、平成二十二年に百十周年を迎えました。そこで成東九十九同窓会では、旧制中学校当時の本校の佇まいを偲ぶよすがとなっている旧武道館を、展示を主体とした「歴史館」として改装し同窓生の心の拠りどころとして末長く活用してゆきたいと考えました。

旧武道館は、母校の創立から二十年目の大正十年十一月に、同窓会や地域の方々のご尽力によって竣工し寄贈されました。学校の新設から、わずか二十年で県および学校へ同窓会が建物を寄付したという前例は、他にありません。本校に寄せられた卒業生や地域の方々への熱い期待を今に伝える、貴重な歴史的建造物なのです。

この意を汲み、本校卒業生の漫画家立原あゆみ氏（市川洋一氏）が、旧武道館を配する情景の原画を描き下ろしてご寄贈下さいました。入学の春から卒業間近な冬までを綴った十二枚の作品には、四季折々の風物と年を追って成長してゆく少年と少女が、詩情豊かに描かれています。皆様にはこの会報の第1頁でもご紹介して参りましたが、原画には彩色

が施されいつその鮮やかさで心に残ります。その一学年の、春夏秋冬の四枚を額装にしました。成東高校ならではの記念グッズです。作品の味わいを生かして丁寧に仕上げましたので、末長く母校を身近に感じていただける逸品だと自負しております。同じイラストでクリアファイルと葉もご用意しました。

また、創立まもなく作られて、九十九魂の発露として愛唱されてきた校歌の扇とCDも制作しました。扇面には卒業生の書家宮負一昭氏の揮毫による校歌が躍動しています。CDには本校の新旧の画像も収録しました。

さらに、同窓生の発案により植樹され育まれてきた校庭の九十九本の桜の由来と配置や品種をご紹介します『桜ガイドマップ&ガイドブック』も編集出版しました。

販売収益は、旧武道館の補修改装費用に充ててゆきたいと考えております。趣旨をご理解の上ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

詳しくは、成東九十九同窓会HPの「ネットショップ」をご覧ください。また、商品カタログ等をご希望の際には、街波通信社あてご連絡下さい。TEL..0475-5312732



編集後記

母校にいと、同窓生の方々とお話をさせていただく機会が多いのですが、本校の同窓生には或る共通点があります。

校歌が大好きなんです。

どの同窓会でも、最後の締めは「水か空か」です。今まで何度となく成高関係の同窓会に出てきましたが、皆さん嬉々として大声で歌われます。

校史をひもとくと、かつて在校生は、この旋律が気に入らず旧制一高の「嗚呼玉杯に」のメロディで水か空かを歌っていたとか。私も試しに歌ってみました。歌えることは歌えるのですが、ノリが悪いですね。「さかまく波は」のテンポの良さが生きます。たかが校歌、されど校歌……です。

(T)

「成東高校同窓会報」編集部

TEL..0475-8213171
FAX..0475-8210144

【編集責任者】

畑戸 輝夫 (高3回)

齊藤 功 (高22回)

田井中善夫 (高35回)

多田 達子 (理1回・高26回)

(高35回)